

◆ 東京都立蒲田高等学校(公立)

○受講生徒:普通科3年生(1クラス計26名)

○使用時間:3コマ(50分×3)

○充当教科:公民科政治経済

- 授業のねらい:・「社会保障」とは何かというテーマをもとに、社会保障の理念を学び、社会保障制度に対する意欲・関心を高める
- ・社会保障制度と私たちの人生の結びつきを学ばせた上で、社会保障制度の概要、財源や仕組み、日本の現状を学ばせる
 - ・日本の年金制度の概要について学ぶとともに、その利点と今後の課題について学び、社会保障制度の学習のまとめを行う

○使用教材: ①映像教材

②映像教材用ワークシート(教師オリジナル)

③理念やあり方ワークシート

④身近な社会保障ワークシート

⑤10個の「10分間講座」

⑥年金ワークシート

⑦蒲田高校版オリジナル教材(教材③④⑤⑥を基に作成)

⑧年金人生ゲーム(教師オリジナル)

【1限目】

展開	内容	使用教材
15分	<p>「社会保障」を学ぶ上での導入を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生には病気になることや、将来介護が必要となる可能性があるなど、リスクがあり、いつまでも順風満帆ではないことを生徒に説明する。 ・「身近な社会保障ワークシート」の「社会の一員として生きていくこととは」に記入をしながら学習させる。その際に、実際の求人票を見ながら記入させる。 ・家計の基本的なやりくりを考えさせうえて、想定外のリスクに遭遇した場合にどうするかを考えさせ、発表させる。 	<p>身近な社会保障ワークシート オリジナル教材</p>
35分	<p>映像教材を視聴させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像教材を基に作成したワークシートを記入しながら、生徒に興味を持たせ、問題喚起を行う。映像も途中で一時停止して、解説を入れる。また、ワークシートの最後には、「映像教材」を視聴した後の「社会保障」に対する意識をまとめさせる。 	<p>映像教材 映像教材用ワークシート</p>

【2限目】

展開	内 容	使用教材
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・社会保障に関する高校生クイズ(教員作成パワーポイント)を出題して、前回の授業で視聴した映像教材のおさらいを行う。 	オリジナル教材
10分	<p>私たちの人生と、社会保障がどのように関係しているかを学習させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「身近な社会保障ワークシート」の「わたしたちの生活と社会保障」を用いて、私たちの人生と社会保障がどのように関わっているのかをまとめさせる。 ・【こども期】【青年後(労働期間)】【老年期(退職後)】それぞれの段階でどのようなリスクがあるのかを考えていく。 ・そのリスクに対して社会保障によりどのような備えが用意されているのかをワークシートに記入して学習させる。それにより、一生涯にわたって社会保障が関わっていることを理解させる。 	オリジナル教材 身近な社会保障 ワークシート
12分	<p>社会保障制度の在り方や、その財源などについて学習させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「理念やあり方ワークシート」の「社会保障制度を整理してみよう」を記入しながら社会保障について学習させる。 ・「市場」「家庭」「政府」の3つの関わりあいから、市場経済と社会保障制度の所得の再分配機能を学習させる。 ・「理念やあり方ワークシート」の「「幸福を分かち合う社会」とは？」を使い、望ましいと考える社会保障制度について考えさせる。その後、黒板に貼った座標にシールを張らせ、何故そう考えたのかを発表させる。 	オリジナル教材 理念やあり方ワー クシート
23分	<p>社会保障制度の概要をまとめ、その仕組みや財源等について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「理念やあり方ワークシート」の「「社会保障制度」・・・「国によって様々なパターンがある。」を使い、国によって社会保障制度の在り方の違いがあることを学習させる。 <p>その際、以下のことを重点的に理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本は高齢化が世界でも最高水準となっている一方で、低負担ながら、様々な社会保障制度が整っている。 ・スウェーデンとアメリカの対比から、社会の仕組みが社会保障制度にも影響を及ぼしていることを考えさせる。 ・上記を学習した上で、どの国の形が良いのかをグループで話し合い発表させる。 	オリジナル教材 理念やあり方ワー クシート
2分	本時の授業を振り返る。	

【3限目】

展開	内 容	使用教材
5分	<p>前2回の授業の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障制度は人生のリスクを補うもの ・所得の再分配機能 ・社会保障制度はだれが担うかによって異なり、長所と短所があること。 	
35分	<p>年金制度の仕組みと、日本の年金制度の現状、課題を学習させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「10 個の「10 分間講座」」のクイズを使い、年金に対する理解を深めさせる。 ・「身近な社会保障ワークシート」の「高校生として必ず押さえておきたい“年金の基礎知識”」を使い、年金にはどのような種類があるのかを学習させる。 ・「年金人生ゲーム」を通して、貯蓄と年金の違いについて理解させる。 <p>その際、以下のことを重点的に理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の年金制度は、物価の変動や老後の生活などの点から、個人の貯蓄よりも優れている。 ・日本の年金制度の維持には、少子高齢化など様々な課題を抱えており、現在、そのための対策が進められている。 ・年金人生ゲームでは、社会保障制度があるグループとないグループに分け、社会保障制度によるリスクの回避を実感して学習させる。 ・「身近な社会保障ワークシート」の「高校生として必ず押さえておきたい“公的年金のメリット”」を使い、貯蓄にはない年金保険の安心感を学習させる。 	オリジナル教材 年金人生ゲーム
10分	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障制度のまとめ ・社会保障制度に対する考えが、学習活動を通じてどのように変化したかまとめさせる。 	オリジナル教材 身近な社会保障 ワークシート
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の授業を振り返る。 	

(参考)授業を担当した教師や受託会社の授業後の感想(「地域社会保障推進事業実施報告書」より)

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">効果的だったと思われる点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○全体をパワーポイントに落とし込み、クイズやゲーム、映像視聴を要所に配置し、生徒の関心を上手くひきつけながら授業を行った点。これにより、生徒の集中力が散漫にならず、アンケートにも「ゲーム、クイズを交えたユーモアな授業がとてもよかったです」「動くものや、実際にやってみたりするので楽しかった」という意見が見られ、興味を持ち続けて効果的な学習を行えたことが伺える。 ○1 限間目の冒頭 15 分を使って、人生には予定外の出来事＝リスクがあるという事を意識づけた上で映像教材を視聴させたことで、生徒がより内容について理解をすることができた点。 ○3 限目の年金について学習する際に、導入で「10 個の「10 分間講座」を使い、生徒が年金に対してもっているイメージと、実際とのギャップを気づかせることから始まり、教師オリジナル教材「年金人生ゲーム」を通して、年金のメリットをゲーム感覚で楽しく学習できた。この事により本題の部分年金保険の見えない利益について生徒が集中力をたもった状態で学習できた。 ○3 回の授業のまとめとして、生徒に「授業の感想や、授業を受ける前と現在で変化したこと、今後に生かしていきたい事」を書かせたことで、生徒の理解度を確かめた点。生徒も自分の考え方をしっかりと記述しており、関心度や理解度の高さが伺えた。 ○解説も生徒のレベルに合わせて分かりやすく行っていたために、アンケートに「授業の進め方がよかった」「とてもわかりやすく理解がしやすかった」と回答する生徒が多かった。 ○また正しい知識を学習した後に、「将来は年金がもらえなくなる」「未納者が多いから、自分も払わない」などの世の中に流れている噂についてもその実態を学習させた。それにより、「年金の事を聞いて、将来もらえないかと不安だったけど、ちょっと安心した」「年金の大切さを知った」「社会保険料、年金をしっかり払おうと思った」という意見が多く見られ、理解の向上が見られた点が効果的であったと思われる。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">問題点等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○全てをパワーポイントに落とし込んだので授業展開であったが、実際に授業を行った際にスクリーンが小さく、後方の生徒には文字が見えづらかったことや、明るさの問題で映像教材が見づらかった点。 ○教師オリジナルの教材「年金人生ゲーム」は、貯蓄との違いと年金のメリットを学習する導入で用いられたが、今回初めて授業で使用されたこともあり、今後授業を重ねていく上で改良が加えられるものと思われる。